

滋賀県知事 三日月大造 様
滋賀県教育委員会教育長 福永 忠克 様

教職員を増やし、教育予算を大幅に増額して下さい



「20人学級」を展望し、少人数学級の前進を！！

<要 請 趣 旨>

新型コロナウイルス感染症の拡大で実施された分散登校による一時的な少人数学級の実現は、ゆきとどいた教育実現のために少人数学級がいかに有効かを実感させてくれました。保護者も教職員も、子どもたち一人ひとりにゆきとどいた教育を保障したいと切に願っています。そのために必要なのは、第一に子どもたちに直接関わる先生の数的大幅に増やすこと、第二に1クラスあたりの子どもの数を減らす少人数学級をさらにすすめること、第三に特別な支援が必要な子どもたちへ手厚い施策を実施すること、第四に施設設備を充実させ、安心・安全なものにすることです。

また、子どもたちの7人に1人は相対的貧困状態（厚労省国民生活基礎調査平成30年）にあり、具体的な支援策が求められています。さらに「義務教育の無償」だけでなく、多くの先進国で常識になっている幼稚園から大学教育までの無償化が求められています。

国の施策がなかなかすすまないなかでも、未来を担う子どもたちの健やかな成長を願い、県独自の施策をすすめてください。

<要 請 事 項>

1. 教職員を大幅に増員してください。
2. 高校にも35人学級を導入するとともに、「20人学級」を展望した少人数学級をめざしてください。
3. 小中学校の特別支援学級の定員を現状の8名から4名にしてください。
4. 県立学校の老朽化したトイレや施設の改修・改善を早急にすすめてください。
5. 県立学校のエアコンについては、普通教室だけでなく、特別教室・準備室・体育館などへ設置を拡大してください。
6. 住民税非課税世帯等に支給されている高校生向け「奨学のための給付金」の受給要件を拡大し、父母負担の軽減に努めてください。

氏 名	住 所

※お手数ですが、住所氏名は同じでも「〃」「同上」のように省略せずに書いてください。

ゆきとどいた教育をすすめる会 〒520-0052 大津市朝日が丘1丁目11-3 教育文化会館内

〇子どもも含め家族の願いとして、家族全員のお名前をお書き下さい。

衆議院議長 様
参議院議長 様



国の責任による35人学級の前進、教職員定数増、教育の無償化、教育条件の改善を！ 2020年度すべての子どもたちにゆきとどいた教育を求める全国署名

【請願趣旨】

新型コロナウイルス感染症の拡大により、全国一律に3月の臨時休校が要請され、4月7日の緊急事態宣言によって、多くの都道府県で臨時休校が5月末まで延長されました。約3か月にわたる臨時休校が行われた自治体では児童生徒・保護者の不安と混乱が増すばかりで、子どもたちのいのちと健康を守ることと学習権を保障することが大きな課題になりました。そうした中で学校を再開するにあたり、感染拡大防止対策として教室の「密」を避けるための少人数学級・授業、学校規模の縮小などが必要です。そのためには教職員を増やすことが不可欠です。現行の40人学級では子どもたちのいのちと健康を守ることができません。教室に社会的距離を確保するには20人程度で授業できるようにすることが必要です。いま「20人以下学級」を展望した少人数学級の前進がもたれられています。

教育全国署名はこれまで一貫して少人数学級を国に求めてきました。保護者・地域の願いに応えて国の標準を下回る独自の少人数学級を実施する自治体が増え続けていますが、地方財政は苦しく国の加配の範囲でしか独自措置できない自治体は少なくありません。今こそ国が責任をもって少人数学級を実現する時です。

大きな課題である教職員の長時間過密労働解消に向けて、最も必要なことは教職員を増やすこと、少人数学級をすすめることです。そのために、義務・高校標準法を改正し抜本的な教職員定数改善をおこなうことが必要です。同時に、私学の教職員数を増やせるよう私立高校等経常費助成補助の大幅増額も必要です。

また、高等学校等就学支援金の所得制限を撤廃し、制度の拡充で公私ともに学費の無償化をすすめる「無償教育の漸進的導入」（国際人権A規約）を具体化することや、正規・専任の教職員を増やすこと、特別支援学校の過大過密を解消すること、学校施設・設備の改善など、子どもたちが安心して学べる教育条件の整備を国の責任で着実に前進させることが必要です。

日本の「公財政教育支出の対GDP比(2016年度)」は2.9%でOECD諸国の中で最低です。OECD諸国平均4.0%まで引き上げれば、小・中・高校の35人以下学級実現だけでなく、一人ひとりにゆきとどいた教育を保障する教育条件整備と、公立・私立ともに就学前から大学まで教育無償化をすすめることが可能となります。憲法と子どもの権利条約が生きて輝く学校づくりをすすめるために、すべての子どもにゆきとどいた教育を実現する教育条件整備を以下のようにお願いします。

【請願項目】

1. 新型コロナウイルス感染から子どもたちのいのちと健康を守るとともに、学ぶ権利を保障するため、教育条件整備に全力をあげてください。
2. 教育予算をOECD諸国並みに計画的に増やし、ゆきとどいた教育条件整備をすすめてください。
3. 国の責任で小・中学校、高等学校の35人以下学級を一刻も早く実現し、「20人以下学級」を展望した少人数学級をすすめてください。また、幼稚園や特別支援学級・学校の学級編制標準の引き下げをすすめてください。
4. 義務・高校標準法を改正し抜本的な教職員定数改善をすすめてください。
5. 教育費の保護者負担を軽減するとともに教育無償化をすすめてください。
 - (1) 高校・大学等の学費無償化と高校生・大学生等への給付奨学金制度の拡充をすすめてください。
 - (2) 私学助成国庫補助の増額と就学支援金拡充で学費の公私間格差をなくしてください。
6. 公立・私立ともに豊かな環境のもとで学べるよう、教育条件や施設の改善をすすめてください。
 - (1) 特別支援学校にだけない「設置基準」を策定し、学校の新設・増設をすすめてください。
 - (2) 学校の耐震化をすすめるとともに、洋式トイレや教室のエアコンの普及をすすめてください。
7. 東日本大震災などの地震や自然災害、福島原発事故の被害を受けた子どもを守り、学校と地域の要望を反映した復旧・復興をすすめてください。

氏 名(カネムで)	住 所 (△△市□□町1丁目2-3 ← 番地までお書きください)
	滋賀県
	滋賀県
	滋賀県
	滋賀県
	滋賀県

※お手数ですが、住所氏名は同じでも「〃」「同上」のように省略せずに書いてください。